

チームエッフェガーラ

市村真太郎 レースレポート

2010年8月1日

Festikap スプリントシリーズ第4戦

ヤマハSSオープンクラス(参加7台)

フェスティカサーキット

フレーム : birel RY31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリヂストン SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック:

◆レース結果

TT 6位(32.750)

予選 4位(32.734)

決勝 5位(32.730)

◆シリーズランキング

4位 (16.5ポイント)

第4戦終了時点



◆今大会にむけて目標、意気込み

久々のオールドライのレース課題となるペース不足がどれだけ改善されているか試す絶好の機会。気合入れてきます。

◆レースレポート

公式練習:路面はドライ、エンジンのピストンリング交換を行った後なので慎重に徐々にペースを上げていきます。エアチェックを行った後、前にトップレベルのライバルを置いてのペース比較。ペースではこちらが上回り公式練習2位のタイム。スリップが効いたとはいえ、エンジンのパワー感がとても良くペース不足は改善したように思えました。

TT:車の手ごたえも良く徐々に追い込んでいきます。しかし、4コーナー～最終立ち上がりまでが公式練習ほどフィーリング良い走りができませんでした。結果はトップから0.3秒離される6位という結果・・・今回も苦しいレースになりそうです。

予選:落ち着いてしまうとペース的に苦しいことが予想される為、スタート～序盤に勝負をかけていきます。スタートはアウトスタートなので、加速のタイミングに命をかけて。加速は完璧に決まり3位と5位の間にスペースができたので、そこに入り込み自分の居場所を作ります。5位で1周目を終えた後、前のグループで3コーナーでバトルが起こり1台失速した為4コーナーで飛び込み4位に。しかしその後は前車から徐々に離される展開。とくに5～最終コーナーにペース差があることがわかりました。ここを決勝までに改善できれば良いレースができる！！

決勝:決勝前若干のセット変更を行い5～最終コーナーのイメージトレーニングと若干の妄想を経て挑みます。スタートはまたもやアウトスタート。ここでのポジションアップはできなかった為、2コーナーに向けて自分の居場所をつくり、3コーナーでのオーバーテイクを狙っていきます。しかし2コーナーで軽い後ろからのプッシングに若干アクセルを抜いてしまい3コーナーはポジションキープで抜けました。その後はまたもや前から徐々に話される苦しい展開。時々起こる前でのバトル＋スリップ効果のおかげで何とかついていける状態。

その上、後方から追い上げてきた選手に5コーナーでさされた為、1コーナーでの挽回を狙ってラインを変えていきます。ここでは抜き返すことに成功しますが、若干のタイムロスを背負ってしまい、その後また、オーバーテイクされてしまいました。さらに後ろからつつかれる苦しい展開に・・・これは我慢してなんとか5位でフィニッシュしました。しかし、前方でバトルが展開されるチャンスのあるレースでそこに参加できないペースのなさは何となくしなないといけません。

◆レースを終えて

今回はペースのなさを痛感するレースでした。また、自分が遅い場所が判ってるのに改善できないアイデアのなさが反省点です。自分の遅いところは判ってきたので、そこを改善できるよう期間をつめて重点的に走りこみます。

次こそはレースらしいレースをできるようにします！！

◎今回の足りないもの

①レースペースのなさ：トップから0.1～0.2秒離されるペースのなさ

②レポート作成のペースのなさ：すいません。

②愛

◎今回の足りたもの

①女子カート部：ありがとうございます。